



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マンドム

コード番号 4917 URL <https://www.mandom.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員兼CEO（氏名）西村 健

問合せ先責任者 （役職名）CF0 （氏名）澤田 正典 TEL 06-6767-5001

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	41,251	5.3	2,371	65.4	2,874	37.8	1,633	4.5
2025年3月期中間期	39,181	5.5	1,433	△12.8	2,086	1.1	1,562	△1.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 263百万円（△94.5％） 2025年3月期中間期 4,800百万円（△2.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	36.19	—
2025年3月期中間期	34.74	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	96,059	76,025	72.5
2025年3月期	97,492	76,673	71.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 69,650百万円 2025年3月期 69,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年9月10日公表の「2026年3月期配当予想の修正（無配）及び株主優待制度廃止に関するお知らせ」に記載のとおり、2026年3月期の配当予想を修正し、2026年3月期の中間配当及び期末配当を行わないことを決議いたしました。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	84,320	10.7	3,500	240.4	4,180	91.7	2,810	51.1	62.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	48,269,212株	2025年3月期	48,269,212株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,132,202株	2025年3月期	3,131,990株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	45,137,202株	2025年3月期中間期	44,988,654株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が続いている一方、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクも見受けられます。個人消費については、消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善による持ち直しの動きがみられます。

当社海外グループの事業エリアであるアジア経済については、景気が緩やかに回復している地域がみられたものの、中国等、一部景気の持ち直しに足踏みがある地域もみられました。

このような経済状況のもと、当社グループは2027年のありたい姿「VISION2027」実現のための「成長基盤構築期」と位置づけた中期経営計画の経営基本方針に基づき諸施策を推進しております。

当中間連結会計期間の売上高は41,251百万円（前年同期比5.3%増）となりました。これは主としてインドネシアにおける売上高が好調に推移したことによるものであります。

営業利益は2,371百万円（前年同期比65.4%増）となりました。これは主としてインドネシアにおける売上高の増加および原価率の改善によるものであります。この結果、経常利益は2,874百万円（同37.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,633百万円（同4.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績（売上高は外部顧客への売上高）は次のとおりであります。

日本における売上高は22,330百万円（前年同期比2.3%増）となりました。これは主として男性事業の「ルシード」ブランドの売上高が好調に推移したことによるものであります。利益面においては、経費の増加があったものの、売上高の増加および原価率の改善による売上総利益の増加により、営業利益は1,308百万円（同17.4%増）となりました。

インドネシアにおける売上高は7,791百万円（前年同期比26.4%増）となりました。これは主として女性事業の「PIXY」ブランドおよび男性事業の「ギャツビー」ブランドの売上高が増加したことによるものであります。利益面においては、主として原価率が改善したことにより、営業利益は392百万円（前年同期は675百万円の営業損失）となりました。

海外その他における売上高は11,130百万円（前年同期比0.6%減）となりました。これは主として「ギャツビー」の売上高が減少したことによるものであります。利益面においては、原価率の上昇及び販売費の増加により、営業利益は791百万円（同26.1%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は、商品及び製品の減少などにより96,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,432百万円減少いたしました。負債合計は、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより20,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ785百万円減少いたしました。また、純資産合計は、為替換算調整勘定の減少などにより76,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ647百万円減少し、自己資本比率は72.5%（前連結会計年度末は71.7%）となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、当中間連結会計期間末には23,898百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,637百万円（前年同期は5,366百万円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純利益2,449百万円、減価償却費1,882百万円による増加と、仕入債務の減少額739百万円による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,710百万円（前年同期は998百万円の支出）となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出3,111百万円および有形固定資産の取得による支出689百万円による減少と、定期預金の払戻による収入2,225百万円による増加であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,029百万円（前年同期は1,167百万円の支出）となりました。主な内訳は、配当金の支払額901百万円による減少であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,119	29,833
受取手形及び売掛金	12,102	11,255
商品及び製品	13,400	12,496
仕掛品	507	476
原材料及び貯蔵品	4,004	3,808
その他	1,483	1,870
貸倒引当金	△6	△9
流動資産合計	60,610	59,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	14,271	13,554
機械装置及び運搬具 (純額)	5,008	4,259
その他 (純額)	2,524	2,831
有形固定資産合計	21,805	20,646
無形固定資産		
のれん	2,719	2,483
その他	3,009	2,775
無形固定資産合計	5,729	5,259
投資その他の資産		
投資有価証券	6,872	8,151
その他	2,482	2,278
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,346	10,422
固定資産合計	36,881	36,327
資産合計	97,492	96,059

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,217	3,367
短期借入金	95	89
未払法人税等	630	576
賞与引当金	1,194	1,119
その他の引当金	101	45
その他	8,773	8,996
流動負債合計	15,013	14,194
固定負債		
退職給付に係る負債	2,836	2,486
その他	2,969	3,352
固定負債合計	5,805	5,839
負債合計	20,818	20,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,011	11,011
利益剰余金	48,628	49,359
自己株式	△6,160	△6,161
株主資本合計	64,874	65,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,722	3,589
為替換算調整勘定	1,764	△9
退職給付に係る調整累計額	525	466
その他の包括利益累計額合計	5,012	4,046
非支配株主持分	6,786	6,375
純資産合計	76,673	76,025
負債純資産合計	97,492	96,059

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	39,181	41,251
売上原価	22,644	22,236
売上総利益	16,537	19,015
販売費及び一般管理費	15,103	16,643
営業利益	1,433	2,371
営業外収益		
受取利息	264	226
受取配当金	48	53
持分法による投資利益	226	152
為替差益	120	25
その他	53	86
営業外収益合計	713	544
営業外費用		
支払利息	19	15
コミットメントフィー	4	5
投資事業組合運用損	18	11
その他	18	9
営業外費用合計	61	41
経常利益	2,086	2,874
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	8	1
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	2	48
事業構造改善費用	—	3
公開買付関連費用	—	373
その他	0	—
特別損失合計	4	427
税金等調整前中間純利益	2,090	2,449
法人税等	631	662
中間純利益	1,458	1,786
非支配株主に帰属する中間純利益		
又は非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△104	153
親会社株主に帰属する中間純利益	1,562	1,633

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,458	1,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	866
為替換算調整勘定	3,157	△2,173
退職給付に係る調整額	17	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	176	△132
その他の包括利益合計	3,342	△1,523
中間包括利益	4,800	263
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,432	667
非支配株主に係る中間包括利益	368	△404

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,090	2,449
減価償却費	1,966	1,882
のれん償却額	137	145
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△283	△59
受取利息及び受取配当金	△313	△279
為替差損益 (△は益)	63	51
持分法による投資損益 (△は益)	△226	△152
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	—
公開買付関連費用	—	373
売上債権の増減額 (△は増加)	1,667	498
棚卸資産の増減額 (△は増加)	960	503
仕入債務の増減額 (△は減少)	297	△739
未払金の増減額 (△は減少)	△680	△103
その他	32	△393
小計	5,712	4,176
利息及び配当金の受取額	284	262
利息の支払額	△19	△15
事業構造改善費用の支払額	—	△64
公開買付関連費用の支払額	—	△114
法人税等の支払額	△610	△606
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,366	3,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,847	△3,111
定期預金の払戻による収入	2,077	2,225
有形固定資産の取得による支出	△878	△689
無形固定資産の取得による支出	△137	△116
投資有価証券の取得による支出	△235	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	3	—
その他	18	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△998	△1,710
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△13	—
リース債務の返済による支出	△127	△119
配当金の支払額	△898	△901
非支配株主への配当金の支払額	△127	△7
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,167	△1,029
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,135	△809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,336	88
現金及び現金同等物の期首残高	22,006	23,810
現金及び現金同等物の中間期末残高	26,342	23,898

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間 (自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,824	6,162	11,195	39,181	—	39,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,942	2,038	157	5,138	△5,138	—
計	24,767	8,200	11,352	44,320	△5,138	39,181
セグメント利益 又は損失 (△)	1,114	△675	1,071	1,510	△76	1,433

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△76百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△79百万円およびその他3百万円であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自2025年4月1日 至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,330	7,791	11,130	41,251	—	41,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,242	1,961	138	5,342	△5,342	—
計	25,572	9,752	11,268	46,593	△5,342	41,251
セグメント利益	1,308	392	791	2,492	△120	2,371

(注) 1. セグメント利益の調整額△120百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額△139百万円およびその他18百万円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。